

GIS分析演習(初級)

東京大学
堀口裕正



まず最初に

- このスライド及び演習については以下のセミナー資料を(大いに)参考にさせていただいて作っております。
- 参考にさせていただいた資料
「初心者のためのQuantum GIS入門」
いわさき@OSGeo.JP かやま@OSGeo.jp
FOSS4G2010 Osaka ハンズオンセミナー
- この資料にはCC(クリエイティブ・コモンズ)による著作物の利用条件が書かれており(BY SA)、この資料も、その利用条件に基づき、(CC BY SA)となります。



- 前述の資料のURL
- http://www.osgeo.jp/wordpress/wp-content/uploads/2010/11/ggis_hands_on_foss4g2010.pdf

今回のセミナーでは

- GISのプロ講師2名が15人の受講者を相手に180分の時間でやったセミナーの内容を(一部ですが)、60分でたくさんの皆様をお相手に私1人で行います。
- ですからこのセミナーを受講しただけでこのソフトが使えるようにはなりません。
- ですので、今回の目的は「研究班が提供した郵便番号別患者数の地図データは、この無料のソフトを使うと自分たちでも作れる」ということが伝わればと思います。

まず, GISとは

- 地理情報システム(Geographic Information System)の頭文字をとったもの
 - 略しただけで説明になっていない
- かなり大雑把に説明すると デジタル化した「地理情報」を扱うソフト
 - 「地図」じゃなくて「地理情報」なのが重要
 - いいかえれば「地理情報」を「作製」するもの
- そのために、「地理情報」を表示する, 編集する, 分析を行うといった機能を持つ

QGISとは

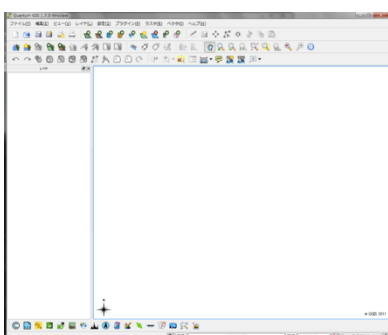
- QGISはFOSS4G(Free and Open Source Software for Geospatial)と呼ばれるソフトウェアの一つです
- 自由に入手, 改良, 再配布ができます。
- つまり, 使ってて気に入ったら他人にコピーを渡してもいいし, 機能が足りないと思ったら, 自分で改造してもいい!!
 - そこまでできる人も少ないですが…。

QGISの特徴

- ソースコードが開示されていて無料で利用できる
- 改造してもいい
- マルチプラットフォーム (Win、Mac、Linux)
- 国際化されている
- プラグインによる機能拡張(多くのプラグインの存在)
- 多様な形式のデータが利用可能
- コミュニティによる情報交換、サポート

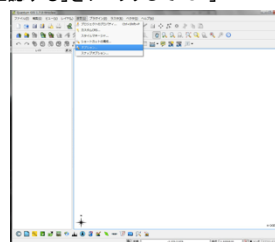
QGIS1.7.0操作手順

立ち上げるとこんな画面

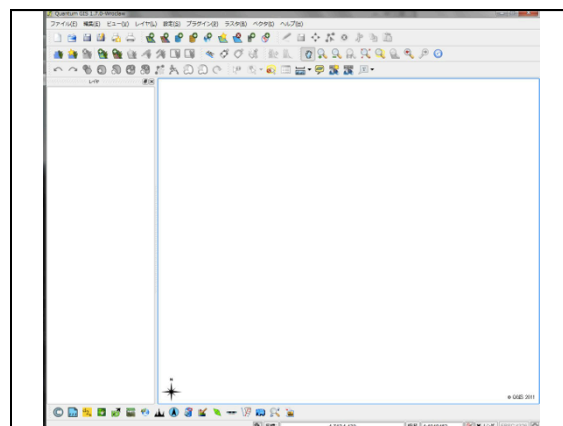
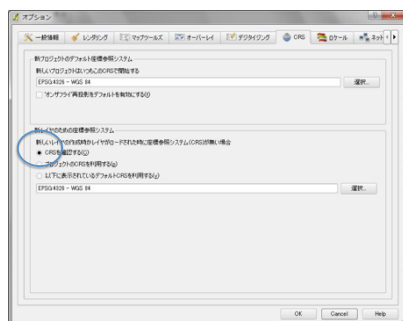


まず、ちょっとした設定

- メニューを「設定」→「オプション...」とクリックする
- 「QGISオプション」が表示されるので、「CRS」タブを選択し、「CRSを確認する」をチェックして「OK」



まず、ちょっとした設定



データをダウンロード



今回は

- インターネットにつながっている環境にないので、データはあらかじめ資料の中においてあります。

